

疾病の成り立ちと回復の促進

目標Ⅰ. 健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 健康の維持増進	A 疾病の予防・早期発見	a 健康診断、健康診査	臨床検査：第1章 C-1「スクリーニング検査」(p.9~10) 医学概論：第8章 C「定期的健康診断」(p.132~133)、D「予防的定期的総合健診の意義」(p.133~137)
		b 予防接種	母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 C-3「生後1か月健康診査に向けた退院時の看護」(p.303~306) 病理学：第5章 C-4「予防接種」(p.92) 医学概論：第8章 B-2「防疫—感染症の予防」(p.126)
		c 健康教育	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 A「生活行動のなかで健康行動を生みはぐくむ援助」(p.90~101)、第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.165~168)、第10章「学習者である患者への看護技術」(p.274~291) 医学概論：第3章 2「健康に対する個人と社会の責任」(p.51)、第8章「病気の予防」(p.122~139)
2 疾病の成立と疾病からの回復	A 疾病の要因	a 内因、外因	病理学：第1章 B「病気の原因」(p.6~11) 病態生理学：第1章 A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2~4) 医学概論：第4章 B「病気の原因」(p.59~68)
		b 生活習慣	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.177~187) 栄養学：第10章 A「食生活の変遷と栄養の問題点」(p.244~247)、B「生活習慣病の予防」(p.247~248) 病理学：第1章 B「病気の原因」(p.6~11) 病態生理学：第1章 A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2~4) 総合医療論：第3章 C「疾病の一次予防と健康増進」(p.73~77) 社会保障・社会福祉：第8章 F-1-2「疾病構造の変化とケアからケアの医療へ」(p.250)
		c ストレス	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 E-4-2「ストレス」(p.133) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 B「健康バランスに影響を及ぼす要因」(p.172~177) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C「ストレスと健康の危機」(p.39~45) 総合医療論：第3章 F-1-1「ストレス」(p.90)
	B 生体の回復	a 回復過程	病態生理学：第1章 A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)
		b 回復に影響する身体的／心理・社会的要因	病態生理学：第1章 A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)

目標Ⅱ. 疾病の要因と生体反応について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 その基本的な病因と成り立ち	A 細胞の障害	a 萎縮、変性、肥大	病理学：第2章 A「細胞の損傷と適応」(p.14~23) 病態生理学：第1章 C-1「細胞の損傷と適応現象」(p.9~10) 医学概論：第5章 A-2「進行性の変化」(p.77)、A-3「退行性の変化」(p.77~78)
		b 壊死〈ネクロシス〉とアポトーシス	病理学：第2章 A-3「細胞の死」(p.19) 病態生理学：第1章 C-2「細胞の死」(p.10~11) 医学概論：第5章 A-3-3「壊死」(p.78)
		c 創傷と治癒	病理学：第2章 B「組織の修復と創傷治癒」(p.23~26)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>病態生理学：第1章 C-4-2「創傷治癒」(p.13) 臨床外科看護総論：第1章 E「創傷治癒」(p.34～52) 救急看護学：第6章 O「創傷処置」(p.351～352) クリティカルケア看護学：第3章 I-1-3「創傷の治癒過程」(p.99)</p>
	B 生体の障害	a 循環障害、臓器不全	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第3章 H「ショック」(p.44～46) 病理学：第3章「循環障害」(p.28～48) 病態生理学：第1章 B「循環障害」(p.4～8) 救急看護学：第5章 D-1「ショックとは」(p.198～202) クリティカルケア看護学：第3章 D「循環障害とケア」(p.63～70)、G「多臓器障害とケア」(p.85～93) 医学概論：第5章 A-1「血行障害による病変」(p.72～77)</p>
		b 炎症、損傷	<p>病理学：第4章 A「炎症とその分類」(p.50～54) 病態生理学：第1章 C-4「炎症」(p.12～14) 薬理学：第6章 B「炎症と抗炎症薬」(p.126～133) 微生物学：第7章 A-6「炎症性サイトカインと急性期反応」(p.102) 臨床外科看護総論：第1章 C「炎症」(p.21～25)、第2章 C-1「外傷」(p.63～67) クリティカルケア看護学：第3章 A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43～48)、I「損傷とケア」(p.98～105) 医学概論：第5章 A-4「炎症」(p.78～85)</p>
		c 免疫異常、アレルギー	<p>成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 C「アレルギーのしくみ」(p.21～25)、第4章「症状と疾患の理解」(p.36～46) 成人看護学 [11] (膠原病)：第2章「自己免疫疾患とその機序」(p.98～102)、第3章「症状とその病態生理」(p.104～109)、第5章「疾患の理解」(p.124～150) 病理学：第4章 B「免疫と免疫不全」(p.54～60)、D「アレルギーと自己免疫疾患」(p.61～69) 病態生理学：第3章 C「免疫反応の過剰」(p.46～54) 微生物学：第7章 B-7「アレルギー(過敏症)」(p.122)、B-8「自己寛容と自己免疫」(p.123)</p>
		d 内分泌・代謝異常	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A「内分泌疾患」(p.82～132)、B「代謝疾患」(p.132～187) 生化学：第4章 G「糖質代謝に関する遺伝性疾患」(p.94～96)、第6章 D「脂質代謝に関する遺伝性疾患」(p.127)、第14章 C-5「ホルモンの異常による疾患」(p.268) 病理学：第6章「代謝障害」(p.94～104)、第15章「内分泌系の疾患」(p.276～286) 病態生理学：第10章「内分泌・代謝のしくみと病態生理」(p.196～220)</p>
		e 廃用症候群	<p>老年看護 病態・疾患論：第6章 A「高齢者におけるリハビリテーションとは」(p.284) 病理学：第7章 A「個体の老化と老年症候群」(p.106～107) リハビリテーション看護：第3章 B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94～96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102～106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106～115)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218)</p>
		f 老年症候群	<p>老年看護 病態・疾患論：第2章「老年症候群」(p.48～92) 病理学：第7章 A「個体の老化と老年症候群」(p.106～107) 病態生理学：第1章 G-1-2「個体の老化」(p.24～25)</p>
		g 遺伝子異常、先天異常	<p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2～14) 生化学：第4章 G「糖質代謝に関する遺伝性疾患」(p.94～96)、第6章 D「脂質代謝に関する遺伝性疾患」(p.127)、第10章 B-3-2「メンデルの法則に従う遺伝病」(p.180～181)、第11章 D「DNA修復機構の異常による遺伝性疾患」(p.209) 病理学：第8章「先天異常と遺伝子異常」(p.116～134) 病態生理学：第1章 F「先天異常と遺伝子異常」(p.21～24)</p>
		h 腫瘍	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-2「脳腫瘍」(p.147～153) 生化学：第15章「がん」(p.270～283) 病理学：第9章「腫瘍」(p.136～166) 病態生理学：第1章 F「腫瘍」(p.18～21) 臨床外科看護総論：第2章 B「腫瘍」(p.55～63) がん看護学：第2章「がんの病態と臨床経過」(p.44～88)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			医学概論：第5章 A-5「腫瘍」(p.85～94)
		i 中毒、放射性障害	生化学：第9章 B「生体異物代謝」(p.160～164)、第11章 B-1「DNA 損傷」(p.199～200) 病理学：第9章 C-2「腫瘍の発生因子」(p.156) 救急看護学：第5章 J-NOTE「放射線障害」(p.267)、第5章 K「中毒への対応」(p.268～273) 臨床放射線医学：第11章 A「放射線障害」(p.246～250)
	C 感染	a 人と病原体の関わり	成人看護学 [11] (感染症)：第1章 A「あなたを取り巻く感染症」(p.200～202) 微生物学：第1章 B「微生物と人間」(p.7)、第2章 E「常在細菌叢」(p.34～37)、第6章 A-2「生体と病原体」(p.71～72)
		b ウイルス	成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210～212) 病理学：第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82～87) 病態生理学：第1章 D-1-2「病原体」(p.15) 薬理学：第3章「抗感染症薬」(p.66～93) 微生物学：第5章「ウイルスの性質」(p.56～66)、第16章「おもなウイルスとウイルス感染症」(p.310～361) 臨床検査：第8章 C-6「ウイルス」(p.267～270)
		c 細菌	成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210～212) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 F「感染症」(p.133～156) 病理学：第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82～87) 病態生理学：第1章 D「感染症」(p.14～18) 薬理学：第3章「抗感染症薬」(p.66～93) 微生物学：第2章「細菌の性質」(p.14～38)、第13章「病原細菌と細菌感染症」(p.218～286) 臨床検査：第8章 C「各種病原体と検査」(p.257～272)
		d 真菌	成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210～212) 薬理学：第3章「抗感染症薬」(p.66～93) 微生物学：第3章「真菌の性質」(p.40～96)、第14章「病原真菌と真菌感染症」(p.288～296) 臨床検査：第8章 C-2「真菌」(p.264～265)
		e 薬剤耐性 (AMR) (多剤耐性菌)	成人看護学 [11] (感染症)：第5章 T「多剤耐性菌感染症」(p.318～320) 病理学：第5章 C-3「薬剤耐性菌」(p.89) 病態生理学：第1章 D-3-2「病原体と化学療法薬」(p.17～13) 薬理学：第1章 A-3「薬物耐性」(p.69) 微生物学：第11章 A-3「薬剤耐性」(p.174～175)、第12章 C-2-3「院内感染で問題となっている薬剤耐性菌」(p.203～204) 公衆衛生：第6章 D-6「多剤耐性菌」(p.176) 臨床検査：第8章 A-5「耐性菌の検査」(p.247)

目標Ⅲ. 疾病に対する診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 疾病に対する医療	A 疾病の診断の基本と方法	a 医療面接(問診)、身体診察(視診・触診・聴診・打診)	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第2章 C-1「フィジカルアセスメントに必要な技術」(p.78～85)
		b 検体検査	病理学：付章「病理診断の実際」(p.320～329) 臨床検査：第1章 B-1「検体検査」(p.8)
		c 生体機能検査	臨床検査：第10章Ⅰ「生理機能検査」(p.289～334)
		d 画像検査	臨床検査：第10章Ⅱ「画像検査」(p.334～344) 臨床放射線医学：第1部「画像診断」(p.18～168)
		e 内視鏡検査	成人看護学 [5] (消化器)：第4章 B-6「内視鏡検査」(p.89～94) 臨床検査：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345～355)
		f 心理・精神機能検査	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章 B-NOTE「心理的特性をはかる検査」(p.103～104)
	B 疾病に対する薬物療法	a 与薬方法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章「与薬の技術」(p.285～343)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 E-1 「事故の視点からみた内服と薬業務の特性——注射業務との違いから理解する」 (p.96~100)</p> <p>薬理学：第2章 B-1 「薬物の投与経路」 (p.25~30)</p> <p>臨床薬理学：第1章 A 「医薬品の取り扱い」 (p.6~22)、B-1 「患者と薬物療法」 (p.23~25)</p>
		b 薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 A-1 「薬物の基本知識」 (p.286~288)</p> <p>薬理学：第2章 B-1 「薬物の投与経路」 (p.25~30)</p> <p>臨床薬理学：第1章 A 「医薬品の体内動態と薬物相互作用」 (p.12~17)</p>
		c 薬効	<p>薬理学：第2章 A 「薬が作用するしくみ(薬力学)」 (p.16~23)</p> <p>臨床薬理学：第1章 A 「医薬品の体内動態と薬物相互作用」 (p.12~17)</p>
		d 薬理作用と副作用(有害事象)	<p>看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 E-1-3 「間違いが事故に発展する危険性——注射業務との比較」 (p.100)</p> <p>薬理学：第2章 E-2 「薬物の副作用」 (p.50~53)</p> <p>臨床薬理学：第1章 B-2 「薬物治療の評価」 (p.26~30)</p>
C	疾病に対する薬物療法以外の治療	a 手術、麻酔	<p>〔成人看護学、各巻の第4章 B または C〕</p> <p>薬理学：第8章 B 「全身麻酔薬」 (p.160~164)</p> <p>臨床外科看護総論：第3章 A 「麻酔法」 (p.76~101)、第4章 「外科的治療の実際」 (p.144~182)</p> <p>クリティカルケア看護学：第4章 「過大侵襲に伴う手術患者の特徴とケア」 (p.116~143)</p> <p>臨床薬理学：第2章 F 「鎮静薬」 (p.65~72)、第4章 G-1 「硬膜外カテーテルによる鎮痛薬の投与と投与量の調整」 (p.297~303)</p>
		b 放射線治療	<p>病理学：第9章 D-4-2 「放射線療法」 (p.162)</p> <p>がん看護学：第4章 C 「放射線療法」 (p.180~200)</p> <p>臨床放射線医学：第2部 「放射線治療」 (p.169~242)</p>
		c 輸血	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 H-2-4 「静脈内注射」 (p.320~336)、I 「輸血管理」 (p.337~343)</p> <p>成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C-5-2 「出血とその対策」 (p.94~96)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 D 「輸血業務と事故防止」 (p.83~95)</p> <p>薬理学：付章 「輸液製剤・輸血剤」 (p.304~316)</p> <p>臨床外科看護総論：第3章 E 「輸血療法」 (p.124~135)</p> <p>救急看護学：第6章 H-2 「輸血」 (p.325~326)</p> <p>臨床検査：第6章 H 「輸血に関する検査」 (p.205~208)</p>
		d リハビリテーション、運動療法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 「障害がある人の生活とリハビリテーション」 (p.234~248)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器)：第6章 F 「心臓リハビリテーションと看護」 (p.357~367)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 C-3 「リハビリテーションを受ける患者の看護」 (p.314~318)</p> <p>リハビリテーション看護：全体</p> <p>医学概論：第7章 E 「リハビリテーション医学」 (p.116~119)</p>
		e 食事療法	栄養食事療法 ：全体
		f 臓器移植、再生医療	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第13章 A-1 「移植・再生医療」 (p.406~410)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章 F 「腎移植」 (p.109~112)</p> <p>病理学：第4章 D 「移植と再生医療」 (p.69~74)</p> <p>臨床外科看護総論：第4章 C 「臓器移植」 (p.169~182)</p> <p>臨床外科看護各論：第1章 I-A-6-3 「肺がんの治療・予後」 (p.17~21)、第2章 I-A-5-2 「心臓移植」 (p.111)、第3章 I-D-11 「肝移植」 (p.272~273)</p> <p>救急看護学：第5章 O-1-4 「脳死と臓器移植」 (p.287~289)</p> <p>クリティカルケア看護学：第4章 G 「肺移植後の看護」 (p.139~142)</p>
		g 人工臓器・透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) ：第4章 E 「透析療法」 (p.102~109)
		h 精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) ：第6章 C 「精神療法」 (p.256~274)
D	医療による健康被害	a 薬害(化学物質)	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 R-1 「HIV 感染症」 (p.310~313)</p> <p>病理学：第1章 B-3-2 「医原病」 (p.11)</p> <p>病態生理学：第1章 A-2-2 「公害病・医原病・職業病」 (p.3~4)</p>
		b ウイルス性肝炎	成人看護学 [5] (消化器) ：第5章 D-1 「肝炎」 (p.210~230)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 F-4 「ウイルス性肝炎」 (p.281~283) 病理学 : 第13章 D-2-2 「ウイルス性肝炎」 (p.243~245) 微生物学 : 第16章 C-1 「肝炎ウイルス」 (p.352~358)</p>
		c 院内感染	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第13章 A-2 「院内感染の防止」 (p.423~426) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 T 「多剤耐性菌感染症」 (p.318~320) 病理学 : 第5章 C-2 「院内感染」 (p.90) 微生物学 : 第12章 B-2 「院内感染とその特徴」 (p.202~205)</p>
		d 針刺し事故	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第13章 H 「針刺し防止策」 (p.456~459) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第7章 A 「職業感染」 (p.218~220)、第8章 B-3-3 「注射・点滴実施時の間違い」 (p.253~254) 臨床検査 : 第2章 E-4-1 「針刺しなどによる血液曝露」 (p.54~55)</p>

目標Ⅳ. 各疾患の病態と診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 呼吸機能	A 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎)	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 A-1-2 「急性気管支炎」 (p.139)、A-3 「肺炎」 (p.142~153)、B 「間質性肺疾患」 (p.164~176)、I-1-1 「胸膜炎」 (p.213~214) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 B 「上気道感染症」 (p.270~272)、C 「下気道感染症」 (p.272~274) 病理学 : 第12章 A-1 「気道」 (p.202)、B-2 「肺炎」 (p.206~213) 病態生理学 : 第7章 C 「呼吸器系の防御機構の障害」 (p.126~132)</p>
		b 気管支喘息	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 C-1 「気管支喘息」 (p.176~181) 成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 A 「気管支喘息」 (p.36~38) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第5章 B-2-2 「気管支喘息」 (p.110~114) 病理学 : 第12章 B-3-3 「気管支喘息」 (p.215~216) 病態生理学 : 第7章 B-4 「気管支喘息」 (p.131~132) 臨床薬理学 : 第3章 F 「気管支喘息」 (p.111~119)</p>
		c 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 C-3 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.183~188) 病理学 : 第12章 B-3-NOTE 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.214) 病態生理学 : 第7章 D-5 「閉塞性肺疾患」 (p.135~138) リハビリテーション看護 : 第5章 A 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.264~280) 臨床検査 : 第10章 I-B 「呼吸機能検査」 (p.308~318) 臨床薬理学 : 第3章 G 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.120~124)</p>
		d 肺循環障害(肺高血圧、肺塞栓症)	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 D-1 「肺血栓塞栓症」 (p.188~191)、D-2 「肺高血圧症」 (p.191~192) 病理学 : 第12章 B-4 「肺の循環障害」 (p.217) 病態生理学 : 第7章 F 「肺循環の障害」 (p.138~139)</p>
		e 肺結核	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 A-4 「結核」 (p.153~163) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 C-3 「肺結核」 (p.273~274) 病理学 : 第12章 B-2-1 「肺結核症」 (p.208) 病態生理学 : 第7章 C-2-5 「肺結核」 (p.130) 臨床検査 : 第8章 C-3 「抗酸菌」 (p.265~266)</p>
		f 気胸	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 I-3 「自然気胸」 (p.214~217) 病理学 : 第12章 C-3 「気胸」 (p.221) 病態生理学 : 第7章 B-2-2 「気胸」 (p.134) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-B-1 「自然気胸」 (p.22~23)</p>
		g 腫瘍(肺癌、中皮腫)	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 G 「肺腫瘍」 (p.199~212)、I-5 「胸膜腫瘍」 (p.217~218) 病理学 : 第12章 B-5 「肺がん」 (p.218~221)、C-1-4 「悪性胸膜中皮腫」 (p.222) 病態生理学 : 第7章 D-3 「気道における空気の通過障害」 (p.134) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-A-5 「肺良性腫瘍」 (p.13)、I-A-6 「肺がん」 (p.13~21)、I-B-3 「悪性胸膜中皮腫」 (p.23) がん看護学 : 第4章 C-2-1 「治療決定の例(肺がん)」 (p.186~187) 臨床検査 : 第6章 G 「腫瘍マーカーの検査」 (p.201~204)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
6 循環機能	A 心臓の疾患の病態と診断・治療	a 先天性心疾患(心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、Fallot(ファロー)四徴症)	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章I「先天性心疾患」(p.215~223) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第8章B-2「先天性心疾患」(p.193~202) 病理学 : 第9章B-2「先天性心疾患(心奇形)」(p.174~177) 病態生理学 : 第6章A-2-c-1「先天性心疾患」(p.100~103) 臨床外科看護各論 : 第6章I-D「先天性心疾患」(p.513~532) 臨床検査 : 第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308)、II-A-2「心臓超音波(心エコー)検査」(p.335~336)	
		b 虚血性心疾患(狭心症、急性冠症候群)	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章A「虚血性心疾患」(p.122~151) 病理学 : 第10章B-5「虚血性心疾患」(p.179~180) 病態生理学 : 第6章A-2-a「冠循環の異常」(p.93~97) 臨床外科看護各論 : 第2章I-A-3-b「虚血性心疾患」(p.99~105) リハビリテーション看護 : 第5章B「虚血性心疾患」(p.281~298) 臨床検査 : 第5章A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308) 臨床薬理学 : 第3章B「急性冠症候群」(p.86~91)	
		c 心筋症(肥大型心筋症、拡張型心筋症)	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章G-1「心筋症」(p.209~213) 病理学 : 第10章B-6「心筋症」(p.183) 病態生理学 : 第6章A-2-c-3「心筋症」(p.105) 臨床検査 : 第5章A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308)	
		d 心不全(急性心不全、慢性心不全)	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章B「心不全」(p.152~164) 病理学 : 第10章B-3「心不全」(p.177~187) 病態生理学 : 第6章A-2-e「心不全」(p.106~107) 臨床検査 : 第5章A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308) 臨床薬理学 : 第3章C「心不全」(p.92)	
		e 心タンポナーデ	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章F-2「心タンポナーデ」(p.208) 病理学 : 第10章B-5-2「心筋梗塞」(p.180~183) 病態生理学 : 第6章b「心膜の障害」(p.105~106) 救急看護学 : 第5章I-1-3「各部の外傷 胸部外傷」(p.243~245) 臨床検査 : 第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308)、II-A-2「心臓超音波(心エコー)検査」(p.335~336)	
		f 不整脈(上室性頻脈性不整脈、心室性頻脈性不整脈、徐脈性不整脈)	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章D「不整脈」(p.175~201) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章E-5「不整脈」(p.54) 病態生理学 : 第6章A-2-b「心筋収縮の指令の障害(不整脈)」(p.97~100) 臨床外科看護各論 : 第2章I-A-4「不整脈の外科的治療」(p.105~107) 臨床検査 : 第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308) 臨床薬理学 : 第3章D「不整脈」(p.99~104)	
		g 炎症性疾患(感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎)	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章E「弁膜症」(p.201~207)、F「心膜炎」(p.207~209) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章D「心血管系感染症」(p.274~276) 病理学 : 第10章B-7「心内膜と心膜の疾患」(p.183~184) 病態生理学 : 第6章A-2-c-2「弁膜の機能不全」(p.103~105)、A-2-d「心膜の障害」(p.105~106) 臨床外科看護各論 : 第2章I-A-3-a-4「感染性心内膜炎」(p.98~99) 臨床検査 : 第5章A-3「心筋マーカー」(p.137~138)、第10章I-A「循環機能検査」(p.289~308)	
		h 弁膜症(大動脈弁疾患、僧帽弁疾患)	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章E「弁膜症」(p.201~207) 病理学 : 第10章B-8「心臓弁膜症」(p.185~186)	
		B 血管系の疾患の病態と診断・治療	a 大動脈瘤、大動脈解離	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章J-1「大動脈瘤」(p.223~225) 病理学 : 第10章A-3「動脈瘤・大動脈解離」(p.173) 病態生理学 : 第6章B-2-c-2「動脈瘤」(p.115) 臨床外科看護各論 : 第2章I-B-3「動脈瘤」(p.123~130)
			b 閉塞性動脈硬化症	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章J-3-4「閉塞性動脈硬化症」(p.227) 病理学 : 第10章A-2「動脈硬化症」(p.170~173) 病態生理学 : 第6章B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115) 臨床外科看護各論 : 第2章I-B-2-2「慢性動脈閉塞」(p.114~118)
	c 挫滅症候群		救急看護学 : 第5章I-1-3「各部の外傷 四肢外傷」(p.246~247)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 下肢静脈瘤、深部静脈血栓症	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 D-1 「肺血栓塞栓症」 (p.188~191) 成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 K-3 「静脈瘤」 (p.230~231) 病理学 : 第3章 F-1 「血栓塞栓症」 (p.37~38)、第10章 A-4 「静脈の疾患」 (p.173~174) 病態生理学 : 第6章 B-2-d 「静脈の障害」 (p.115~117) 臨床外科看護各論 : 第2章 I-B-4-1 「下肢静脈瘤」 (p.130~133)、I-B-4-2 「深部静脈血栓症」 (p.133~135)
	C 血圧異常の病態と診断・治療	a 動脈硬化症	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 A-3 「冠状動脈硬化の危険因子」 (p.145~151) 病理学 : 第10章 A-2 「動脈硬化症」 (p.170~173) 病態生理学 : 第6章 B-2-c-1 「動脈硬化症」 (p.115)
		b 本態性高血圧	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 C-2 「本態性高血圧」 (p.170~172) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 E-1 「高血圧」 (p.52~53) 病理学 : 第3章 J 「高血圧症」 (p.44~46) 病態生理学 : 第6章 B-2-b 「血圧の上昇による病態」 (p.114) 臨床薬理学 : 第3章 A 「高血圧症」 (p.80~85)
		c 二次性高血圧	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 C-3 「二次性高血圧」 (p.172~174) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 E-1 「高血圧」 (p.52~53) 病理学 : 第3章 J 「高血圧症」 (p.44~46) 病態生理学 : 第6章 B-2-b 「血圧の上昇による病態」 (p.114) 臨床薬理学 : 第3章 A 「高血圧症」 (p.80~85)
		d 起立性低血圧	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 C-4-1 「起立性低血圧」 (p.174)
	D ショックの病態と診断・治療	a 心原性ショック	成人看護学 [3] (循環器) : 第3章 H 「ショック」 (p.44~46) 病理学 : 第3章 I 「ショック」 (p.42~44) 救急看護学 : 第5章 D 「ショック・循環障害への対応」 (p.197~205)
		b 出血性ショック	成人看護学 [3] (循環器) : 第3章 H 「ショック」 (p.44~46) 病理学 : 第3章 I 「ショック」 (p.42~44) 救急看護学 : 第5章 D 「ショック・循環障害への対応」 (p.197~205)
		c 血流分布異常性ショック	成人看護学 [3] (循環器) : 第3章 H 「ショック」 (p.44~46) 病理学 : 第3章 I 「ショック」 (p.42~44) 病態生理学 : 第6章 B-2-a-2 「ショック」 (p.112~114) 救急看護学 : 第5章 D 「ショック・循環障害への対応」 (p.197~205)
7 栄養の摂取・消化・吸収・代謝機能	A 口腔、咽頭の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(咽頭炎、扁桃炎)	成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 B-2 「急性咽頭炎・扁桃腺炎」 (p.270~271) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 C-2-1 「咽頭炎」 (p.152)、C-2-2 「急性扁桃炎」 (p.152~153)、C-2-3 「慢性(反復性)扁桃炎」 (p.153~154) 病理学 : 第12章 A 「鼻腔・咽頭・喉頭の疾患」 (p.202~205)
		b う歯、歯周病	成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第5章 「疾患の理解」 (p.106~118)
		c 腫瘍(舌癌、咽頭癌)	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第5章 C-2-8 「上咽頭がん」 (p.158)、C-2-9 「中咽頭がん」 (p.158)、C-2-10 「下咽頭がん」 (p.158~159) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第5章 G-1-1 「扁平上皮がん」 (p.141~144) 病理学 : 第12章 A-7 「悪性腫瘍」 (p.205) 臨床外科看護各論 : 第5章 I-A-4 「口腔がん」 (p.438)、I-A-6 「咽頭がん」 (p.439~440)
	B 上部消化管の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(逆流性食道炎、急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症)	成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 A-3 「胃食道逆流症」 (p.149~152)、B-2 「胃炎」 (p.154~156)、B-3 「胃・十二指腸潰瘍」 (p.156~165) 病理学 : 第13章 A-3 「食道の疾患」 (p.227~228)、B 「胃の疾患」 (p.228~234) 病態生理学 : 第8章 B-2-2 「逆流防止機構の障害」 (p.147)、C-1 「胃の防御機能の破綻」 (p.148~150) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-A-4 「逆流性食道炎」 (p.176~178) 臨床検査 : 第5章 B-6 「ペプシノゲン(PG)」 (p.144)、第8章 C-1-4 「グラム陰性桿菌」 (p.261~264) 臨床薬理学 : 第3章 I 「胃食道逆流症」 (p.132~136)
		b 潰瘍性疾患(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)	成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 B 「胃・十二指腸疾患」 (p.152~172) 病理学 : 第13章 B-2 「胃の疾患」 (p.229~231)、C-2 「腸の疾患」 (p.234~240) 病態生理学 : 第8章 C-1 「胃の防御機構の破綻」 (p.148~150) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-B-2 「胃・十二指腸潰瘍」 (p.188~193)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床検査：第7章J「消化管ホルモンの検査」(p.234～235)、第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345～355) 臨床薬理学：第3章H「胃・十二指腸潰瘍」(p.125～131)
		c 腫瘍(食道癌、胃癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第5章A-1「食道がん」(p.142～148)、B-4「胃がん」(p.165～172) 病理学：第13章A-3-3「食道がん」(p.228)、B-2-3「胃がん」(p.231)、C-2-6「大腸がん」(p.239) 病態生理学：第8章B-2-3「食道がん」(p.148)、D-3「胃がん」(p.151) 臨床外科看護各論：第3章I-A-7「食道がん」(p.179～184)、I-B-3「胃がん」(p.193～201) がん看護学：第4章A-4「手術の種類」(p.141～150) 臨床検査：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345～355)
	C 下部消化管の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn(クローン)病、虫垂炎、痔瘻)	成人看護学 [5] (消化器)：第5章C-2「腸炎」(p.173～178)、C-4「虫垂炎」(p.184～186) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章E-2「虫垂炎」(p.278) 病理学：第13章C-2「腸の疾患」(p.234～240) 臨床外科看護各論：第3章I-C-4「非特異性炎症性腸疾患」(p.210～217)、I-C-6「虫垂炎」(p.219～220)、I-C-12-2「痔瘻」(p.239) 臨床検査：第6章A「炎症マーカーの検査」(p.187～188)
		b イレウス	成人看護学 [5] (消化器)：第5章C-6「腸閉塞症」(p.190～195) 病理学：第13章C-1-5「腸閉塞とイレウス」(p.240) 病態生理学：第8章D-3-2「腸閉塞」(p.154～155) 臨床外科看護各論：第3章I-C-7「イレウス」(p.220～223)
		c 腫瘍(大腸ポリープ、結腸癌、直腸癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第5章C-9「腸管ポリープおよびポリポシス」(p.198～201)、C-10「大腸がん」(p.201～207) 病理学：第13章C-2「腸の疾患」(p.234～240) 臨床外科看護各論：第3章I-C-9「腸管ポリープ」(p.225～228)、I-C-11-1「大腸がん」(p.229～236) がん看護学：第4章A-4「手術の種類」(p.141～150) 臨床検査：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345～355)
		d 排便障害(便秘、下痢)	成人看護学 [5] (消化器)：第3章F「下痢」(p.51～52)、G「便秘」(p.52～55) 臨床薬理学：第2章C「便秘治療薬」(p.52～56)、D「下痢治療薬」(p.57～59)
	D 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(肝炎、胆管炎、膵炎)	成人看護学 [5] (消化器)：第5章D-1「肝炎」(p.210～230)、D-8「急性胆嚢炎および胆管炎」(p.252～253)、E-1「膵炎」(p.257～261) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章F「肝胆道系感染症」(p.279～283) 病理学：第13章D-2「肝臓・胆管・胆嚢の疾患」(p.242～247)、E-2「膵臓の疾患」(p.251) 病態生理学：第8章E-2「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160～164)、F-2「膵臓の機能の障害」(p.169～170) 臨床外科看護各論：第3章I-D-8「胆嚢炎・胆管炎」(p.267～269)、I-G-3「膵炎」(p.296～298) 臨床検査：第5章B「血清酵素の検査」(p.139～144) 臨床薬理学：第3章J「慢性肝炎」(p.137～145)
		b 肝硬変	成人看護学 [5] (消化器)：第5章D-2「肝硬変症」(p.230～237) 病理学：第13章D-2-5「肝硬変症」(p.247) 病態生理学：第8章E-2-4「肝硬変」(p.161) 臨床検査：第5章B「血清酵素の検査」(p.139～144)
		c 腫瘍(肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第5章D-5「肝(臓)がん」(p.243～247)、D-9「胆管がん」(p.253～254)、D-10「胆嚢がん」(p.254～255)、E-2「膵(臓)がん」(p.262～264) 病理学：第13章D-2-6「肝がん」(p.248)、E-2-3「膵がん」(p.252)、第15章B-5「膵島の疾患」(p.285) 病態生理学：第8章E-2-6「肝がん」(p.163)、F-2-3「膵臓がん」(p.170) 臨床外科看護各論：第3章I-D-3「肝(臓)がん」(p.252～260)、I-D-10「胆道がん」(p.269～272)、I-G-5「膵(臓)がん」(p.296～298) 臨床検査：第6章G「腫瘍マーカーの検査」(p.201～204)
		d 脂肪肝、アルコール性肝炎	成人看護学 [5] (消化器)：第5章D-1-7「アルコール性肝障害」(p.226)、D-1-8「脂肪肝」(p.227) 病理学：第13章D-2-3「脂肪性肝疾患」(p.245～246) 病態生理学：第8章E-2「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160～164) 臨床検査：第5章B「血清酵素の検査」(p.139～144)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 内部環境調節機能	E 腹壁・腹膜・横隔膜の疾患の病態と診断・治療	e 胆石症	成人看護学 [5] (消化器) : 第3章 D-7 「胆石症」 (p.248~252) 病理学 : 第6章 D-4 「黄疸」 (p.102~103)、第13章 D-2-7 「胆嚢炎, 胆石症」 (p.250) 病態生理学 : 第8章 E-4 「胆汁産生と胆道の障害」 (p.165~166) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-D-7 「胆石症」 (p.263~267) 臨床検査 : 第5章 E 「胆汁排泄関連物質の検査」 (p.157~160)
		a 鼠径ヘルニア	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第9章 B-7-6 「外鼠径ヘルニア」 (p.256~257) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-H-2-1 「鼠径部ヘルニア」 (p.311)、第6章 I-C-23 「鼠径ヘルニア」 (p.506)
		b 腹膜炎	成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 C-3 「腹膜炎」 (p.180~184)
		c 横隔膜ヘルニア、吃逆	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 J-3-1 「吃逆(しゃっくり)」 (p.220)、J-3-3 「横隔膜ヘルニア」 (p.220~221)
	A 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	a 間脳・下垂体疾患	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-1 「視床下部-下垂体前葉系疾患」 (p.82~94)、A-2 「視床下部-下垂体後葉系疾患」 (p.94~97) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-2-2 「おもな脳腫瘍」 (p.149~153) 病理学 : 第15章 B-1 「下垂体の疾患」 (p.277~279) 病態生理学 : 第10章 A-2 「視床下部-下垂体系のはたらきとその異常」 (p.197~200) 臨床外科看護各論 : 第4章 I-A-4-4 「下垂体腺腫」 (p.389~391) 臨床検査 : 第7章 A 「下垂体前葉ホルモンの検査」 (p.212~216)、B 「下垂体後葉ホルモンの検査」 (p.216~217)
		b 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-3 「甲状腺疾患」 (p.97~112) 病理学 : 第15章 B-2 「甲状腺の疾患」 (p.279~281) 病態生理学 : 第10章 B-3 「甲状腺のはたらきとその異常」 (p.200~203) 臨床外科看護各論 : 第5章 I-B 「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」 (p.444~455) 臨床検査 : 第7章 C 「甲状腺ホルモンの検査」 (p.218~224)
		c 副甲状腺(上皮小体)疾患	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-4 「副甲状腺疾患」 (p.113~119) 病理学 : 第15章 B-3 「副甲状腺の疾患」 (p.281~282) 病態生理学 : 第10章 A-4 「副甲状腺のはたらきとその異常」 (p.204~205) 臨床外科看護各論 : 第5章 I-B 「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」 (p.444~455) 臨床検査 : 第7章 D 「副甲状腺ホルモンの検査」 (p.224~225)
		d 副腎皮質・髄質疾患	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-5 「副腎疾患」 (p.119~125) 病理学 : 第15章 B-4 「副腎の疾患」 (p.282~284) 病態生理学 : 第10章 A-5 「副腎皮質のはたらきとその異常」 (p.205~208)、B-6 「副腎髄質のはたらきとその異常」 (p.208) 臨床外科看護各論 : 第3章 I-I 「副腎の疾患」 (p.312~319) 臨床検査 : 第7章 E 「副腎皮質ホルモンの検査」 (p.225~230)、F 「副腎髄質ホルモンの検査」 (p.230~231)
		e 腫瘍(下垂体腫瘍、甲状腺癌)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-1 「視床下部-下垂体前葉系疾患」 (p.82~94)、A-2 「視床下部-下垂体後葉系疾患」 (p.94~97)、A-3-6 「甲状腺腫瘍」 (p.108~112)、A-8 「多発性内分泌腫瘍症」 (p.128) 病理学 : 第15章 B-1-2 「下垂体腺腫」 (p.278)、B-2-5 「甲状腺がん」 (p.281) 臨床外科看護各論 : 第4章 I-A-4-4 「下垂体性腺腫」 (p.389~391)、第5章 I-B-3 「甲状腺腫瘍」 (p.450~453) 臨床検査 : 第7章 A 「下垂体前葉ホルモンの検査」 (p.212~216)、B 「下垂体後葉ホルモンの検査」 (p.216~217)、C 「甲状腺ホルモンの検査」 (p.218~224)
		B 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	a メタボリックシンドローム、肥満症
b 糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1 「糖尿病」 (p.132~164) 病理学 : 第6章 C 「糖尿病」 (p.98~100) 病態生理学 : 第10章 B 「糖代謝とその異常」 (p.209~214) 臨床検査 : 第5章 C 「糖代謝の検査」 (p.144~151) 臨床薬理学 : 第3章 M 「糖尿病」 (p.159~168)、第4章 C 「インスリンの投与量の調整」 (p.252~258)		

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 脂質異常症	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-2 「脂質異常症」 (p.164~177) 病理学 : 第6章 A-4 「脂質異常症」 (p.96~97) 病態生理学 : 第10章 C 「脂質代謝とその異常」 (p.215~217) 臨床検査 : 第5章 D 「脂質代謝の検査」 (p.151~157) 臨床薬理学 : 第3章 N 「脂質異常症」 (p.169~174)
		d 高尿酸血症、痛風	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-4 「尿酸代謝異常」 (p.183~187) 病理学 : 第6章 D-2 「痛風」 (p.101) 病態生理学 : 第10章 D 「尿酸代謝とその異常」 (p.217~218) 臨床検査 : 第5章 F 「窒素化合物の検査」 (p.160~161)
		e ビタミン欠乏症	生化学 : 第2章 D 「ビタミン」 (p.39~43) 栄養学 : 第9章 F-3-5 「ビタミンの欠乏症・過剰症」 (p.217~218) 臨床検査 : 第5章 M 「ビタミンの検査」 (p.182)
	C 体液調節の疾患の病態と診断・治療	a 水・電解質の異常(脱水、浮腫、低ナトリウム血症、高カリウム血症)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 C 「浮腫」 (p.49~51)、D 「脱水」 (p.51~52)、E-4 「電解質の異常」 (p.57~58) 病態生理学 : 第4章 A-2 「体液・電解質の異常」 (p.59~65) 救急看護学 : 第5章 G 「体液・代謝異常への対応」 (p.223~230) クリティカルケア看護学 : 第5章 C 「体液・循環管理」 (p.159~164) 臨床検査 : 第5章 I 「水・電解質の検査」 (p.169~174) 臨床薬理学 : 第4章 A-5 「持続点滴中の糖質・電解質輸液の投与量の調整」 (p.231~237)、B-1 「脱水症状に対する輸液による補正」 (p.238~243)
		b 酸塩基平衡の異常(アシドーシス、アルカローシス)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第2章 B-4 「酸塩基平衡」 (p.38~39)、第4章 B-8-2 「酸塩基平衡」 (p.104~107) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 E-5 「酸塩基平衡の障害」 (p.58~59) 病態生理学 : 第4章 B-2 「酸・塩基平衡の異常」 (p.67~70) クリティカルケア看護学 : 第5章 C 「体液・循環管理」 (p.159~164) 臨床検査 : 第5章 J 「血液ガス分析」 (p.174~179)
	9 造血機能	A 血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	a 貧血(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、骨髓異形成症候群、二次性貧血)
b 白血球減少症			成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第3章 C-3 「白血球減少症」 (p.45~47)、第4章 B-1 「無顆粒球症」 (p.72) 病理学 : 第11章 A-3-2 「白血球減少症」 (p.192) 病態生理学 : 第5章 C-2-1 「白血球減少症」 (p.82)
c 出血性疾患(血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)、免疫性血小板減少性紫斑病(ITP)、播種性血管内凝固(DIC))			成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 D 「出血性疾患」 (p.134~143) 病理学 : 第3章 K 「播種性血管内凝固」 (p.47~48)、第11章 A-7 「出血性疾患」 (p.195~196) 病態生理学 : 第5章 D-2 「出血傾向」 (p.86~88) クリティカルケア看護学 : 第3章 F 「凝固・線溶系障害とケア」 (p.78~84)
d 腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)			成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C 「造血器腫瘍」 (p.74~134) 病理学 : 第11章 A-4 「白血病」 (p.192)、A-6 「形質細胞腫と多発性骨髄腫」 (p.194)、B-2 「悪性リンパ腫」 (p.196~199) 病態生理学 : 第5章 C-3 「白血球の腫瘍化」 (p.82~84)
10 免疫機能	A 自己免疫疾患の病態と診断・治療	a 全身性エリテマトーデス(SLE)	成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 B 「全身性エリテマトーデス」 (p.130~133) 病理学 : 第4章 C-3 「膠原病と類縁疾患」 (p.68~69) 病態生理学 : 第3章 C-2-2 「全身性自己免疫疾患」 (p.52)
		b 関節リウマチ	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 I-B-2 「関節リウマチとその類縁疾患」 (p.132~140) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 A 「関節リウマチ」 (p.124~130) 生化学 : 第14章 B-3-2 「●JAK-STAT シグナル伝達経路」 (p.258~259) 病理学 : 第4章 C-3 「膠原病と類縁疾患」 (p.68~69)、第17章 4-3 「関節リウマチ」 (p.309) 病態生理学 : 第3章 C-2-2 「全身性自己免疫疾患」 (p.52) リハビリテーション看護 : 第3章 C 「関節リウマチ」 (p.116~133) 臨床薬理学 : 第3章 P 「関節リウマチ」 (p.179~184)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
	B アレルギー性疾患の病態と診断・治療	c Sjögren (シェーグレン) 症候群	成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 G 「シェーグレン症候群」 (p.142~143) 病理学 : 第4章 C-3 「膠原病と類縁疾患」 (p.68~69) 病態生理学 : 第3章 C-2-2 「全身性自己免疫疾患」 (p.52)	
		a 花粉症 (アレルギー性鼻炎)	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 B 「アレルギー性鼻炎」 (p.38) 病理学 : 第4章 C-1-1 「I型アレルギー (即時型アレルギー)」 (p.61~62) 病態生理学 : 第3章 C-1 「I型アレルギー」 (p.46~48) 臨床検査 : 第6章 E 「アレルギー検査」 (p.199~200)	
		b 蕁麻疹	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 F 「蕁麻疹」 (p.43~44) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 A-2-1 「蕁麻疹」 (p.86~87) 病理学 : 第18章 B-3 「蕁麻疹」 (p.316) 病態生理学 : 第3章 C-1 「I型アレルギー」 (p.46~48)	
		c 接触皮膚炎	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 G 「接触皮膚炎」 (p.44~45) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 A-1-2 「接触皮膚炎」 (p.82~83) 病理学 : 第4章 C-1-4 「IV型アレルギー (遅延型アレルギー)」 (p.66)、第17章 B-3 「接触皮膚炎」 (p.316) 病態生理学 : 第3章 C-4 「IV型アレルギー」 (p.50)	
		d アナフィラキシーショック	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 E 「アナフィラキシー」 (p.42~43) 病理学 : 第3章 I 「ショック」 (p.42~44) 病態生理学 : 第6章 B-2-a-1 「ショック」 (p.112~114) 救急看護学 : 第5章 D 「ショック・循環障害への対応」 (p.197~205)	
	C 免疫低下に関連する疾患の病態と診断・治療	a 敗血症	成人看護学 [11] (感染症) : 第2章 C-2 「SIRS と敗血症」 (p.219~221) 病理学 : 第5章 A-1 「感染と体内での拡散」 (p.76~79) 病態生理学 : 第1章 B-4-4 「敗血症」 (p.14) 救急看護学 : 第5章 D-NOTE 「敗血症」 (p.199)	
		b ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症	成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 R-1 「HIV 感染症」 (p.310~313) 母性看護学 [2] (母性看護学各論) : 第7章 I B-14 「後天性免疫不全症候群 (エイズ)」 (p.381) 病理学 : 第4章 B-4 「免疫不全症」 (p.60) 病態生理学 : 第3章 B-3 「T細胞の機能低下」 (p.45) 微生物学 : 第16章 B-11-2 「ヒト免疫不全ウイルス」 (p.349~351)	
	11 神経機能	A 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	a 脳血管障害 (脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病)	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-1 「脳血管障害」 (p.122~147) 病理学 : 第16章 A-2 「脳・神経系の循環障害 (脳血管障害)」 (p.288~293) 病態生理学 : 第12章 B-2 「脳循環障害」 (p.240~242) 臨床外科看護各論 : 第4章 I-A-3 「脳血管疾患」 (p.381~385) リハビリテーション看護 : 第4章 A 「脳血管障害」 (p.136~196)
			b 頭蓋内圧亢進症	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-6 「頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア (脳嵌入)」 (p.80~83)、第5章 A-2 「脳腫瘍」 (p.147~153) 病理学 : 第16章 A-2-6 「頭蓋内圧亢進症」 (p.293) 病態生理学 : 第12章 C-2 「脳圧の異常による障害」 (p.243) 救急看護学 : 第5章 B-2-1 「意識障害時の救急処置」 (p.182~184)
			c 変性疾患 (Parkinson (パーキンソン) 病、筋萎縮性側索硬化症 (ALS))	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 E-2 「脳・神経の変性疾患」 (p.192~204) 病理学 : 第16章 A-4 「変性疾患」 (p.297~299) 病態生理学 : 第12章 H-3-2 「パーキンソン病」 (p.262~264)、I-2 「筋萎縮性側索硬化症 (ALS)」 (p.262~263) リハビリテーション看護 : 第4章 B 「パーキンソン病」 (p.197~226) 臨床薬理学 : 第3章 Q 「パーキンソン病」 (p.185~190)
d 脱髄疾患 (多発性硬化症)			成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 E-1 「脱髄疾患」 (p.189~192) 病理学 : 第16章 A-5 「脱髄疾患」 (p.300~301) 病態生理学 : 第12章 A-5-1 「多発性硬化症」 (p.300~301)	
e 認知症 (Alzheimer (アルツハイマー) 病、血管性認知症、Lewy (レビー) 小体型認知症)			成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 I 「認知症」 (p.225~233) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 A 「認知症」 (p.135~150) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7-1 「認知症」 (p.210~205) 病理学 : 第16章 A-4-1 「アルツハイマー病」 (p.286~287) 病態生理学 : 第12章 G-3 「認知症」 (p.252) 臨床薬理学 : 第3章 R 「認知症 (アルツハイマー病)」 (p.191~195)	
f 感染症 (脳炎、髄膜炎)			成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 F 「脳・神経系の感染症」 (p.205~215) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 K 「中枢神経感染症」 (p.293~294) 病理学 : 第16章 A-3 「脳・神経系の感染症」 (p.294~297)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			病態生理学：第12章D-4「髄膜炎と脳炎」(p.245)
		g 頭部外傷	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章A-3「頭部外傷」(p.153~158) 病理学：第16章A-2-5「頭部外傷」(p.292) 臨床外科看護各論：第4章I-A-2「頭部外傷」(p.378~381) 救急看護学：第5章I-1-3「各部の外傷」頭頸部・顔面外傷(p.241~243)
		h 脊髄損傷	成人看護学 [10] (運動器)：第5章I-D-1「脊髄損傷」(p.110~112) 臨床外科看護各論：第4章I-B-4「外傷に伴う脊髄疾患」(p.398~400) 救急看護学：第5章I-1-3「各部の外傷」脊髄・脊椎損傷(p.243) リハビリテーション看護：第4章C「脊髄損傷」(p.226~259)
		i 機能的疾患(てんかん)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章H「てんかん」(p.218~225) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章C-9「てんかん」(p.225~227) 病態生理学：第12章E「頭痛」(p.247~248)、H-4「けいれん・てんかん」(p.256~258) 臨床薬理学：第3章T「てんかん」(p.203~208)
		j 腫瘍(脳腫瘍)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章A-2「脳腫瘍」(p.147~153) 病理学：第16章A-6「脳腫瘍」(p.301~302) 病態生理学：第12章D「脳腫瘍」(p.245~246) 臨床外科看護各論：第4章I-A-4「脳腫瘍」(p.385~392)
	B 末梢神経系の疾患の病態と診断・治療	a Guillain-Barré (ギラン・バレー) 症候群	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-3「ギラン・バレー症候群」(p.171~172) 成人看護学 [10] (運動器)：第5章II-F-3-2「多発性ニューロパチー」(p.161) 病理学：第16章A-7-1「末梢神経障害」(p.302)
		b 圧迫性神経障害	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-5「単ニューロパチー」(p.173~176) 病態生理学：第12章H-6-2「末梢神経の圧迫障害」(p.260~261)
		c 顔面神経麻痺 (Bell (ベル) 麻痺)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-7「顔面神経麻痺」(p.177~179) 病態生理学：第12章H-NOTE「ベル麻痺」(p.260) 救急看護学：第4章D-1-2「視診」(p.121~123)
		d 自律神経失調症	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-5「自律性のある機能の障害」(p.78~79)
	C 感覚器系の疾患の病態と診断・治療	a 視覚障害(白内障、緑内障、網膜剥離、網膜症)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-4-2「特殊感覚の障害」(p.72~73)、B-5-1「対光反射の障害と瞳孔不同」(p.73~74) 成人看護学 [13] (眼)：第3章A「視機能に関連した症状」(p.28~31)、第5章A「機能の障害」(p.96~114) 病理学：第18章A-1「眼の疾患」(p.312~314) 病態生理学：第13章A「視覚器の機能とその異常」(p.266~270) リハビリテーション看護：第6章A「視覚障害」(p.304~324)
		b 聴覚障害(難聴、Ménière (メニエール) 病)	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第3章A-1「難聴」(p.47~48)、第5章A-3-2「メニエール病(特発性内リンパ水腫)」(p.123~125) 病理学：第18章A-1「耳の疾患」(p.314~315) 病態生理学：第13章B「聴覚器の機能とその異常」(p.270~274) リハビリテーション看護：第6章B「聴覚障害」(p.324~334)
		c 嗅覚・味覚障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第3章B-3「嗅覚障害」(p.51~52)、第5章C-6「味覚障害」(p.151) 病態生理学：第13章C「味覚・嗅覚とその異常」(p.274~276)
		d 皮膚障害(湿疹、アトピー性皮膚炎、帯状疱疹、疥癬、蜂窩織炎)	成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章C「アトピー性皮膚炎」(p.39~40) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章A-1「湿疹・皮膚炎群」(p.80~86)、F-5-2「帯状疱疹」(p.144~145)、G-7-3「疥癬」(p.150~151) 病理学：第18章B「皮膚の疾患」(p.315~318) 病態生理学：第2章A-3「体内の反応による皮膚の異常」(p.31~33)
12 運動機能	A 骨・関節の疾患の病態と診断・治療	a 骨折、脱臼、捻挫	成人看護学 [10] (運動器)：第5章I「外傷性(外因性)の運動器疾患」(p.86~121) 病理学：第17章1「骨折」(p.306) リハビリテーション看護：第3章B「骨折」(p.92~115)
		b 骨粗鬆症	成人看護学 [10] (運動器)：第5章D-1「骨粗鬆症」(p.151~152) 老年看護 病態・疾患論：第4章J-7「骨粗鬆症」(p.237~240) 病理学：第17章3「骨粗鬆症」(p.306) 病態生理学：第10章E-2-2「骨粗鬆症」(p.219) 臨床薬理学：第3章O「骨粗鬆症」(p.175~178)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 腫瘍(骨肉腫)	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 C 「骨腫瘍および軟部腫瘍」 (p.143~150) 病理学 : 第17章 6 「骨肉腫」 (p.310)、7 「転移性骨腫瘍」 (p.310)
		d 変形性関節症	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 B-7 「関節の変性疾患 : 変形性関節症」 (p.141~143) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 J-2 「変形性膝関節症」 (p.232~233) 病理学 : 第17章 4-2 「変形性関節症」 (p.308)
		e 腰痛症(椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症)	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 H-3 「腰部脊柱管狭窄症」 (p.167~168)、H-5 「椎間板ヘルニア」 (p.169~170) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 J-4 「椎間板ヘルニア」 (p.234~225)、J-5 「腰部脊柱管狭窄症」 (p.236) 病理学 : 第17章 5 「椎間板ヘルニア」 (p.309) 臨床外科看護各論 : 第4章 I-B-2 「腰椎疾患」 (p.394~396)
		f 炎症性疾患(骨・骨髄炎、関節炎)	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 B 「骨・関節の炎症性疾患」 (p.129~143) 病態生理学 : 第17章 2 「骨髄炎」 (p.306)、「関節炎」 (p.308~309)
		B 筋肉・神経筋接合部の疾患の病態と診断・治療	a 筋ジストロフィー 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 D-1 「筋ジストロフィー」 (p.179~183) 病理学 : 第16章 B-1 「進行性筋ジストロフィー」 (p.303) 病態生理学 : 第12章 I-4 「進行性筋ジストロフィー」 (p.263)
	b 重症筋無力症 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 D-7 「重症筋無力症」 (p.186~188) 病理学 : 第16章 B-2 「重症筋無力症」 (p.304) 病態生理学 : 第12章 I-3 「重症筋無力症」 (p.263)		
	13 排泄機能	A 泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	a 腎炎、慢性腎臓病 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 A-4 「慢性腎臓病」 (p.121~123)、C 「糸球体腎炎」 (p.127~133)、D 「全身性疾患による腎障害」 (p.133~142) 病理学 : 第14章 A 「腎・泌尿器系の疾患」 (p.254~260) 病態生理学 : 第9章 B 「腎機能の障害」 (p.180~188) 臨床検査 : 第5章 H 「腎機能の検査」 (p.164~169) 臨床薬理学 : 第3章 K 「慢性腎臓病(CKD)」 (p.146~152)
			b 炎症性疾患(腎盂腎炎、膀胱炎) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 I 「尿路・性器の感染症」 (p.152~158) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 G 「尿路感染症」 (p.283) 病理学 : 第14章 A 「腎・泌尿器系の疾患」 (p.254~260) 病態生理学 : 第11章 C-2 「泌尿器の機能の障害」 (p.191~193)
			c 腫瘍(腎癌、尿管癌、膀胱癌) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 M 「尿路・性器の腫瘍」 (p.175~184) 病理学 : 第14章 A-6 「腎がん」 (p.260)、A-7-3 「尿管がん」 (p.261) 病態生理学 : 第11章 B-8 「腎臓から発生する腫瘍」 (p.188)、C-3 「尿路系の悪性腫瘍」 (p.194)
			d 腎・尿路結石 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 L 「尿路結石症」 (p.170~174) 病理学 : 第14章 A-7 「尿路の疾患」 (p.260~261) 病態生理学 : 第11章 C-2-2 「通過障害」 (p.192~193)
e 排尿障害(過活動膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5-3 「排尿障害」 (p.75~76) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 B 「排尿に関連した症状」 (p.46~49) 病態生理学 : 第9章 C-2 「泌尿器の機能の障害」 (p.191~193) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-9 「排尿障害」 (p.190~192)、C-5-3 「排尿障害」 (p.245~248)			
f 腎不全 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 A 「腎不全と AKI・CKD」 (p.115~123) 病理学 : 第14章 A-5 「腎不全」 (p.259~260) 病態生理学 : 第11章 B-7 「腎不全」 (p.185~188) 臨床検査 : 第5章 H 「腎機能の検査」 (p.164~169)			
14 生殖機能	A 生殖器系の疾患の病態と診断・治療	a 女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 B-3-5 「子宮筋腫」 (p.124~127)、B-3-6 「子宮内膜症」 (p.127~129)、B-5-1 「卵巣の良性腫瘍」 (p.138~142) 病理学 : 第14章 B-3 「女性生殖器の疾患」 (p.264~270) 病態生理学 : 第11章 A 「女性生殖器の機能とその異常」 (p.222~229)	
		b 乳腺の疾患(乳腺炎、乳腺症) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 B-7-3 「乳腺良性腫瘍性疾患」 (p.168~169)、B-7-5 「炎症」 (p.170~172) 病理学 : 第14章 C 「乳腺の疾患」 (p.271~272) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-D-2 「その他の乳腺疾患」 (p.36~37)	
		c 男性生殖器の疾患(前立腺炎、前立腺肥大) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 I 「尿路・性器の感染症」 (p.152~158)、J-5 「前立腺肥大症」 (p.163~165) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 I-5-1 「前立腺肥大症」 (p.228~229)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			<p>病理学：第14章 B-2「男性生殖器の疾患」(p.262～264) 病態生理学：第11章 B-2「男性生殖器の異常」(p.232～233)</p>
		d 腫瘍(乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌)	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 M「尿路・性器の腫瘍」(p.175～184) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 B-3-3「子宮頸がん」(p.116～121)、B-3-4「子宮体がん」(p.121～124)、B-5-2「卵巣の悪性腫瘍」(p.142～145)、B-7-1「乳がん(乳腺悪性疾患)」(p.147～166) 病理学：第14章 B-3-5「子宮頸がん」(p.267～268)、B-3-6「子宮体がん」(p.268～269)、B-3-7「卵巣腫瘍」(p.269～270)、C-2-4「乳がん」(p.272) 病態生理学：第11章 A-4「子宮頸がんと子宮体がん」(p.227～228)、A-6「卵巣腫瘍」(p.229)、A-7「乳がん」(p.230～231)、B-2「男性生殖器の異常」(p.232～233) 臨床外科看護各論：第1章 I-D-1「乳がん」(p.26～36)</p>
		e 生殖機能障害(月経異常、更年期障害)	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-6「性腺疾患」(p.125～126) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 J-3「精巣および性機能障害」(p.65)、O「男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患」(p.189～191) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 C-1「月経異常・月経随伴症状」(p.173～178)、C-2「更年期障害」(p.178～180) リハビリテーション看護：第4章 A-5-11「性機能障害」(p.194～195)、C-5-5「性機能障害」(p.250～255)</p>
15 精神機能	A 精神・心身の疾患の病態と診断・治療	a 症状性を含む器質性精神障害(Alzheimer〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy〈レビー〉小体型認知症)、せん妄	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 I「認知症」(p.225～233) 老年看護 病態・疾患論：第4章 A-4「認知症をきたす疾患の診断と治療」(p.140～147) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-7「器質性精神障害」(p.209～219) 臨床薬理学：第3章 R「認知症(アルツハイマー病)」(p.191～195)</p>
		b 精神作用物質使用による精神・行動の異常(アルコール依存症、覚醒剤・大麻精神病)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-8「精神作用物質使用による精神および行動の障害」(p.220～225)</p>
		c 統合失調症	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-2「統合失調症」(p.165～183)</p>
		d 気分〈感情〉障害(うつ病、双極性障害)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-3「気分〔感情〕障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群〕」(p.183～192) 臨床薬理学：第3章 S「うつ病・うつ状態」(p.196～202)</p>
		e 神経症性障害、ストレス関連障害(パニック障害、心的外傷後ストレス障害(PTSD)、適応障害)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-4「神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」(p.193～203)</p>
		f 生理的障害、身体的要因に関連した精神障害または行動症候群(摂食障害、不眠症、ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-5「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」(p.203～209)</p>
		g 小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害	<p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第18章 B「おもな疾患」(p.493～506) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-10「神経発達障害群」(p.227～232)</p>